

提出資料の記載要領

※履歴書（様式1）の記載項目についてのみ、昇順（古いもの→新しいもの）で記載し、それ以外の様式については、降順（新しいもの→古いもの）で記載すること。

【履歴書（様式1）】※ 別紙記載例のとおり記載すること。

生年月日：和暦年で記載。以下、書類の年号はすべて和暦年とする。

学歴：高校卒業から大学院研究科までを記載する。

資格：学位及び看護師、理学療法士、作業療法士、医師等の資格取得年月と登録番号を記載する。

（例）〇〇大学 学士（△△学）. 第〇〇号

（例）〇〇大学 修士（△△学）. 第〇〇号

（例）〇〇大学 博士（△△学）. 第〇〇号

職歴及び研究歴：研究員（生）における履歴も、この欄に記載する。

なお、非常勤講師の履歴は、他の職歴と1行空けて記載する。

【学会等活動実績・研究費補助金等採択実績（様式2）】

これまでの学会・研究会等の会員状況、学会賞等受賞歴、科学研究費補助金等の外部研究費の採択状況について、正式名称を記載する。

1. 所属学会：所属している学会及びそれに類するものを記載する。

2. 学会賞：学会賞等の受賞について記載する。

3. 外部研究費：科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）等による外部研究費を記載することとし、年度、名称、種目、研究テーマ、代表・分担の別について記載する。

【教育実績1（様式3）】

過去5年間の教育活動実績について記載する。

1. 学部等教育の担当科目実績

ア 学部、専攻科又は専門学校等における科目担当実績について記載する。

イ 担当科目ごとに記載する。

ウ 他大学での非常勤講師として担当している科目についても記載する。

エ 科目責任、分担の別を記載する。

オ 「担当時間数」とは、実際に担当している授業時間を記載し、「授業時間数」とは当該科目の全授業時間数を記載する。

（例）全授業時間30時間の看護〇〇論の10時間を担当している場合→10／30

カ 担当年度は和暦で記載する。

キ 備考欄には、担当内容、授業の特徴などを自由に記載する。

また、シラバスがある場合は写しを添付する。

ク 助手の職制にあつては、実習指導に当たった実績も担当科目として記載する。

2. 大学院教育の担当科目実績

学部等教育の担当科目実績と同様に記載する。

3. 大学院論文指導実績

主指導・副指導それぞれについて、主な指導論文の論文名と課程の別を5編以内で記載する。

【教育実績2（様式4）】

1. 学生指導

学生担当、課外活動等への恒常的支援内容について、自由に記載する。

（例）H〇～R〇：〇〇学部学生担当

R〇～現在：〇〇サークル顧問

2. FD関連への参加実績教

(1) ア Faculty Development (FD) 関連で参加した研修会・研究会・講演などの参加実績や、教育に関する講演の演者、教育研究の実績がある場合は記載する。

なお、講演実績がある場合は、社会的貢献(様式6)の記載方法に準じて記載する。

(例) テーマ「〇〇学教育の最近の動向」：講演会：北海道〇〇協会〇〇支部主催講演会

イ 参加年は和暦で記載する。

ウ 主なる内容を自由に記載する。

(2) 教育方法の創意工夫

特に工夫していることについて、自由に記載する。

3. 臨床の実習指導実績

臨床/臨地における実習指導実績のほか、今後の教育活動との関連から臨床経験についても記載する。

【学内活動実績(様式5)】

1. 過去5年間の大学・学部・学科での委員会における活動実績を記載する。

ア 担当委員名：委員会で委員長等の職制にあるときは、それを記載する。

イ 担当年度：和暦で記載する。

ウ 年間委員会開催回数

エ 委員会の活動実績：どのような役割・成果を示したかなどの活動実績について自由に記載する。

2. その他

過去5年間の委員会以外の大学・学部・学科における活動・参加実績について、自由に記載する。医療施設等に勤務している場合は、当該施設における活動を記載すること。

(例) 文部科学省採択プログラム等、プロジェクト、公開講座、学科内での役割等

【社会的貢献(様式6)】

過去5年間の社会的貢献について記載する。

活動期間は全て和暦で記載する。

(1) 公的会議及び役職等について記載する。

(例) 国家試験委員、審議会など

(2) 学会・職能団体に対する貢献等について記載する。

(例) 会長、理事、評議会、部長、役員、部員、学会長、準備委員長、運営委員、座長、編集委員、査読委員など

(3) 国際貢献について記載する。

(例) JICA、青年海外協力隊など

(4) 市民を対象とした講演会、技術指導等について記載する。

(例) 市民講座、研修会講師、健康祭りなどイベントでの講演・実技指導・啓発活動など

(5) ボランティア活動等社会奉仕活動を記載する。

(例) 災害時の支援活動など

※ 様式1～6については、記載する行が足りない場合は、適宜追加すること。

【業績目録】

「業績目録の記載にあたって」の指示に従って、作成すること。

【教育・研究・実践(臨床)に係る業績、及び今後の抱負】

これまでの教育、研究及び実践(臨床)についての概要と、今後の抱負を2,000～3,000字程度にまとめたもの(様式任意)を添付する。

【論文別刷】

主たる論文の別刷又はそのコピーを10部添付する。(論文数は提出書類詳細を参照)